

諏訪湖周サイクリングロード基本計画



平成 28年 8月

諏訪湖周サイクリングロード検討会議
(長野県・岡谷市・諏訪市・下諏訪町)

目 次

1. 基本コンセプト・整備イメージ	ページ
● 基本コンセプト、整備内容	----- 1
● 整備内容、整備パターン	----- 2
2. 区間と基本計画	----- 3
● ～自転車通行区間の整備イメージ～ (全体)	
3. 区間毎の自転車空間の整備イメージ	
● A区間(1) : 釜口水門～湊小学校手前	----- 4
● A区間(2) : 湊小学校手前～石舟渡交差点	----- 5
● B区間 : 石舟渡交差点～上川	----- 6
● C区間 : 上川～機関車(D51)前	----- 8
● D区間 : 機関車(D51)前～間欠泉センター	----- 9
● E区間 : 間欠泉センター～下諏訪町境	----- 10
● F区間 : 諏訪市境～下諏訪町高浜	----- 11
● G区間 : 下諏訪町高浜～赤砂崎公園手前	----- 12
● H区間 : 赤砂崎公園手前～岡谷市境	----- 13
● I区間 : 下諏訪町境～岡谷南高校前	----- 14
● J区間 : 岡谷南高校前～釜口水門	----- 15

1. 基本コンセプト・整備イメージ

基本コンセプト

目指すべき姿

諏訪に住み、働き、集うすべての人々が、多様な目的に身近な交通手段として、自転車が安全で快適に利用できる諏訪湖まちづくりを目指します。

整備の基本方針

4つの柱

安全・快適

安全に、誰もが無理なく利用できる諏訪湖周のサイクリングスペースを整備します。

健康・スポーツ

ジョギングロードと有機的に連携し、誰もが気軽に健康増進が図れるサイクリングスペースを整備します。

観 光

諏訪湖周に立ち並ぶ美術館や公園などの施設と連携したサイクリングスペースの整備します。

環 境

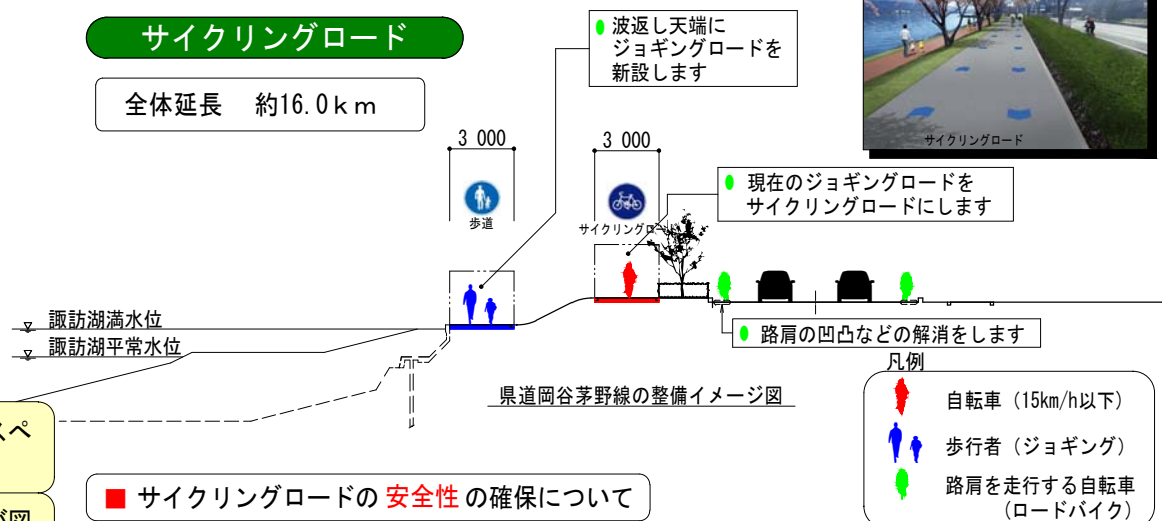
これまで行われてきた施設整備や水辺の環境整備方針と整合し、眺望を楽しめるサイクリングスペースを整備します。

- ① 自転車・歩行者・自動車の適切な分離を基本とします。
- ② 環境特性・整備状況を考慮のうえサイクリングスペースの連続性を確保します。
- ③ 諏訪湖の眺望を楽しめるようにできる限り湖側に整備します。
- ④ 諏訪湖周の地形・植栽・景観への影響を最小限にします。
- ⑤ 休憩スペース（駐輪場・トイレ）を充実させます。
- ⑥ サイクリングロードを核としたまちづくりを官民連携して進めていきます。

整備内容

サイクリングロード

全体延長 約16.0km



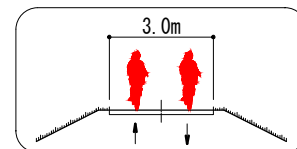
整備後のイメージ



■ サイクリングロードの安全性の確保について

- サイクリングロードの幅員は3mの確保を目指し、対面通行をスムーズにします。
- わかりやすい案内と路面標示に統一します。

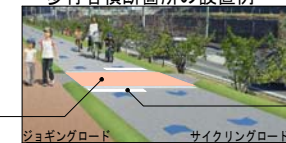
- 自転車の速度の抑制を喚起（おおよそ15km/h以下を想定）
- 歩行者との交錯箇所における注意喚起
- 自動車との混在箇所における幅寄せ注意喚起
- サイクリングロードを横断する歩行者横断指導線の設置



参考事例



歩行者横断箇所の設置例



歩行者横断帯をカラー舗装する

歩行者横断指導線（幅15cm）

- イベントなど混雑が見込まれるエリアにおいては構造上の配慮をします。

- 諏訪湖畔公園、岡谷湖畔公園では、公園の外にサイクリングスペースを確保します。
- 分離する構造は、植栽や土による緩やかな凹凸でおこないます。
- 安全上、防護柵が必要な箇所では着脱ができるようにします。

ジョギングロード サイクリングロード



植栽や土による緩やかな凹凸による分離

イベント時には収納してフラットにできる分離柵



1. 基本コンセプト・整備イメージ

休憩施設：小径の駅

諏訪湖周のジョギングロードやサイクリングロードを気軽に快適に利用出来るように休憩施設として、「**小径の駅**」を設置します。この施設は、これまで整備されてきた施設（公園内のトイレ、ベンチなど）の活用を前提に、駐輪場などを新たに設置し、休憩スペースの充実を図ります。また、湖周に生息する昆虫類や植物の説明看板なども設置します。

- 既存の施設（トイレなど）を有効利用します。
- 眺望スポットの観点から小径の駅を計画します。
- 健康増進の観点から小径の駅を計画します。
- 商業・観光・賑わい機能の観点から小径の駅を計画します。

候補の8箇所

- | | | |
|-----------|------------|----------|
| ● 湊湖畔公園 | ● 間欠泉センター | ● 諏訪湖ハイツ |
| ● すわっこランド | ● 下諏訪みずべ公園 | ● 岡谷湖畔公園 |
| ● 諏訪湖畔公園 | ● 下諏訪赤砂崎公園 | |



諏訪湖畔公園のトイレ



自転車用のスタンド



案内サインのイメージ

楽しくサイクリングできる環境整備 ～官民の連携～

1. サイクルステーション&サイクルオアシスの整備

- サイクルステーションを湖周に2～4箇所程度設置します。
⇒（候補地として **ロマネット** など）
- トイレの利用、飲み物等の購入、自転車の修理が可能な施設です。
- コンビニ等の既存施設ををサイクルオアシス（休憩所）に認定し、ステッカー等で明示します。
- レンタサイクル事業者等と連携して、乗り捨てできる仕組みを検討します。

2. ストレスなく情報収集できる環境の整備

- レンタサイクル施設、主要駅、観光施設などの情報をルートマップ（パンフレット）、スマホサイトで発信します。

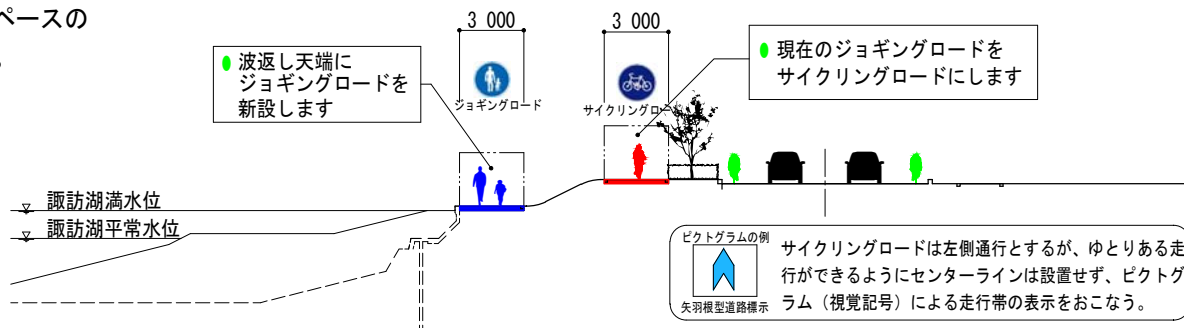
3. 周辺観光地と連携したサイクリングコースの設定

- サイクリングロードや、「まちなか観光」、「山岳高原」を活かしたコースなどニーズに応じた多彩なコースを設定します
- アウトドア用車いすの活用団体等と連携し、身体障がい者等向けの情報発信の強化をします。

整備パターン

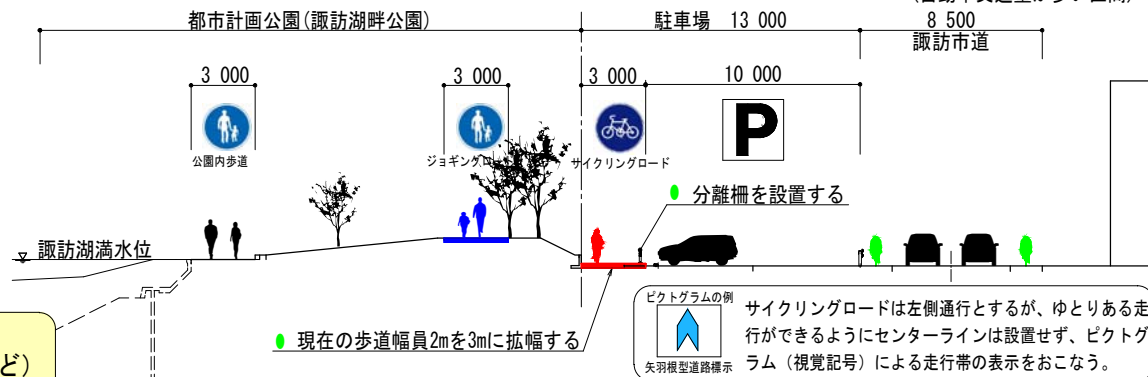
（主な3つのパターンを示します）

● パターン1 現在のジョギングロードをサイクリングロードにする



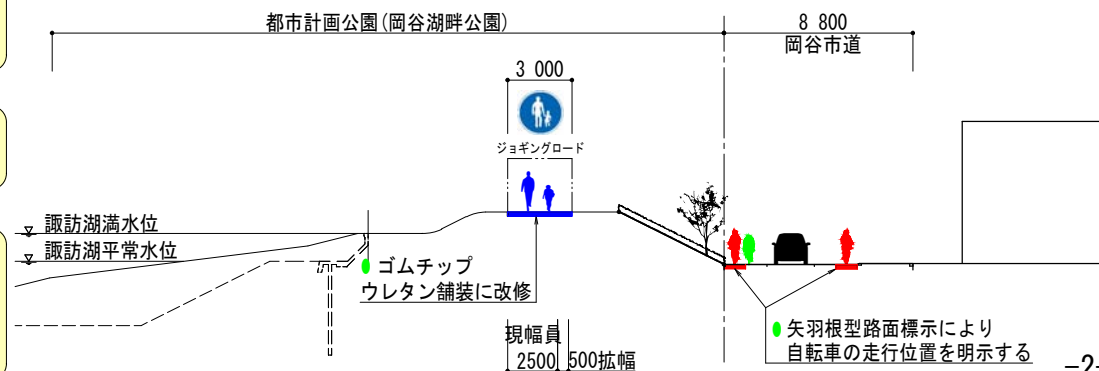
● パターン2 公園内の歩行者の安全確保ため公園内を避けて車道側にサイクリングロードを迂回させる

（自動車交通量が多い区間）

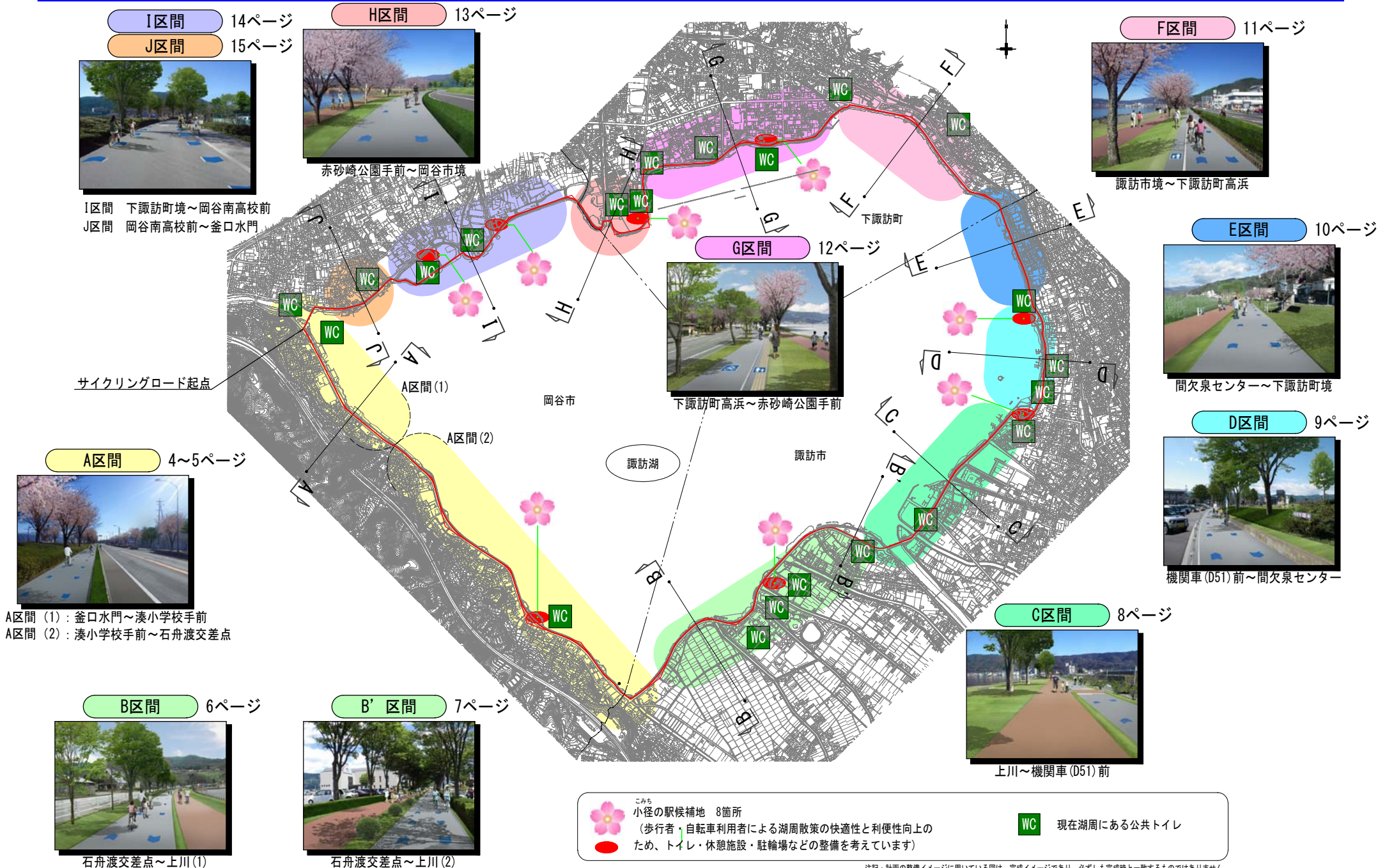


● パターン3 公園内の歩行者の安全確保のため公園内を避けて自転車・自動車が共存する道路とする

（自動車交通量が少ない区間）



2. 区間と基本計画 ～ 自転車通行区間の整備イメージ ～ (全体)



3. 区間毎の自転車整備のイメージ

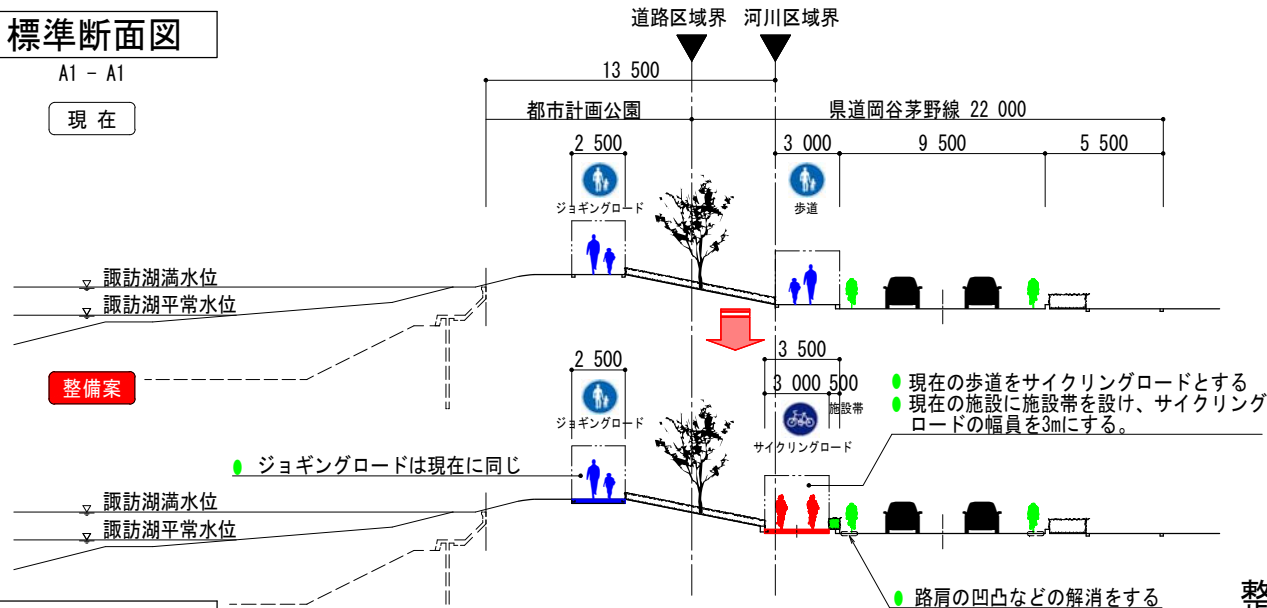
A区間(1)：釜口水門～湊小学校手前

L≒1.0km

標準断面図

A1 - A1

現在



現在の施設に植樹帯を確保して自転車が通行するイメージ



平面図

釜口水門～湊小学校手前

● 釜口水門～岡谷湊小学校の状況

- このエリアの道路は都市計画道路として整備済みである。
- 自転車利用者は通学者が多い。
- 自転車歩行者と車道はマウンドアップ構造である。
- ジョギングロードは公園内に幅員2.5mで整備されている。

諏訪湖の水辺マスタープラン

釜口水門と大噴水をシンボルとした憩いの湖畔ゾーン

整備要旨

- 現在の歩道をサイクリングロードとする。
- 現在の施設に施設帯を設け、サイクリングロードの幅員を3mにする。
- 公園駐車場動線と交錯しやすいため、ピクトグラム（視覚記号）などで自動車と自転車の動線を明確にする。
- 路肩を走行する自転車のため、側溝などの凹凸を解消する。



注記：計画の整備イメージに用いている図は、完成イメージであり、必ずしも完成時と一致するものではありません。
また、今後実施に向けた詳細設計で、関係機関との協議により一部ルートの変更になる場合もあります。

3. 区間毎の自転車整備のイメージ

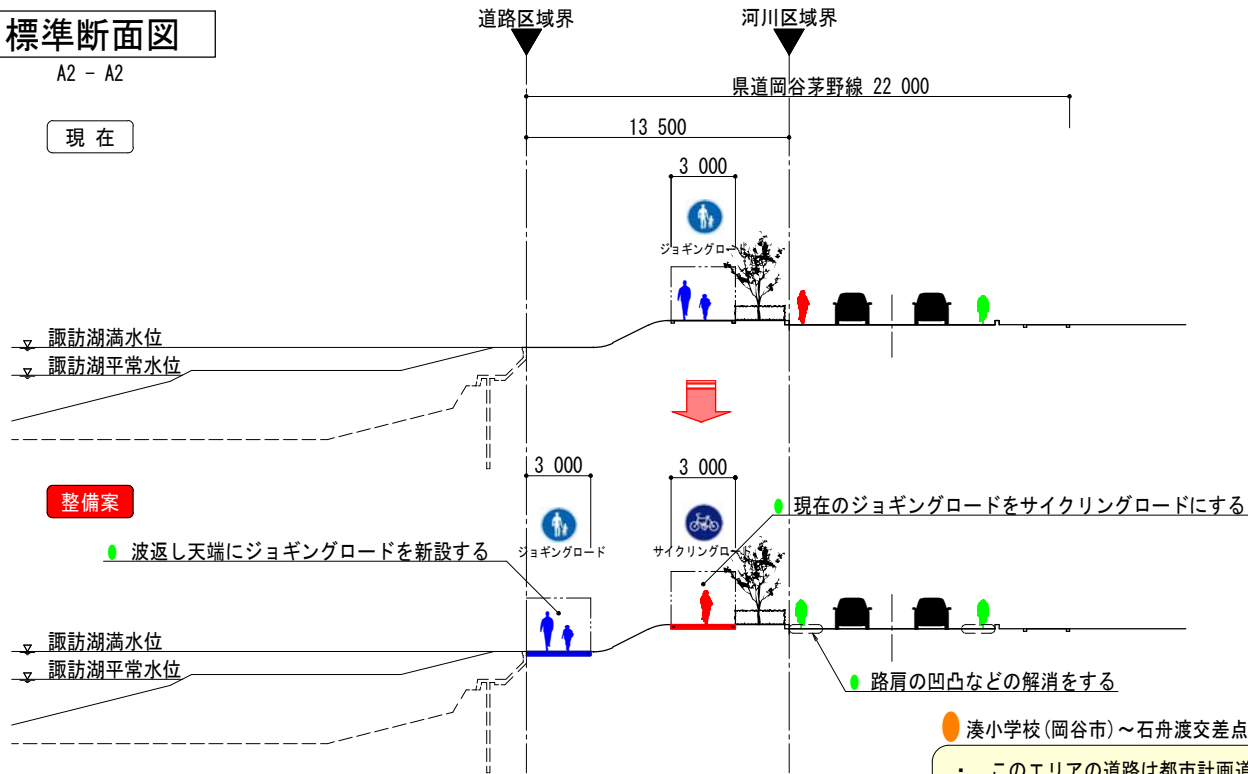
A区間(2)：湊小学校手前～石舟渡交差点

L≒2.7km

標準断面図

A2 - A2

現在



現在のジョギングロードをサイクリングロードにしたイメージ



整備要旨

- 石舟渡交差点(ガラスの里)までは、現在の施設を利用してサイクリングロードにする。
- 土地の改変を最小限とし、波返し天端の平地をジョギングロードに整備する。
- 小径の駅として湊湖畔公園を充実させる。(ベンチ・自転車案内板などの整備)
- 路肩を走行する自転車のため、側溝などの凹凸を解消する。

● 湊小学校(岡谷市)～石舟渡交差点の状況

- ・ このエリアの道路は都市計画道路として整備済みである。
- ・ 自転車利用者は通学者が多い。
- ・ 現在の歩道は植樹帯で車道と分離されている。
- ・ 自転車・歩行者にとって岡谷湊湖畔公園がこのエリアで唯一の休憩地となっている。

平面図

湊小学校手前～石舟渡交差点

諏訪湖の水辺マスタープラン

広々とした湖の風景を満喫する湖畔ゾーン



注記：計画の整備イメージに用いている図は、完成イメージであり、必ずしも完成時と一致するものではありません。
また、今後実施に向けた詳細設計で、関係機関との協議により一部ルートの変更になる場合もあります。

3. 区間毎の自転車整備のイメージ

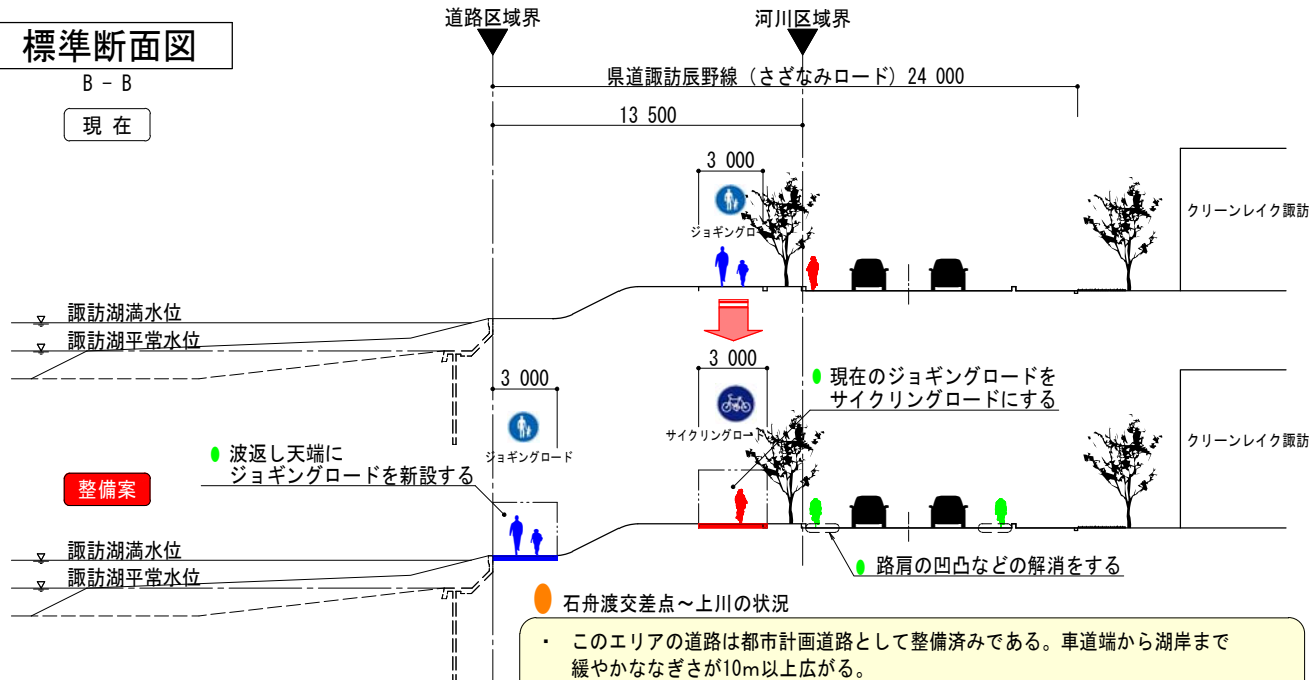
B区間：石舟渡交差点～上川（1）

L≒2.7km

標準断面図

B-B

現在



石舟渡交差点～上川 の状況

- このエリアの道路は都市計画道路として整備済みである。車道端から湖岸まで緩やかなぎさが10m以上広がる。
- 沿道にはスポーツ施設、美術館がある。また駐輪、駐車場などに活用できる県所有の土地がある。
- このエリアは車道とジョギングロードのみである。自転車通行環境が路肩のための、安全な自転車の走行が確保できていない。

湖側にサイクリングロードとジョギングロードを並行に整備したイメージ



整備要旨

- 県道諏訪辰野線（通称：さざなみロード）では、現在のジョギングロードをサイクリングロードとする。
- 土地の改変を最小限とし、波返し天端の平地をジョギングロードに整備する。
- 路肩を走行する自転車のため、側溝などの凹凸を解消する。
- 利用者が多い圏外者のために、すわっくらンド前の県有地の駐輪・駐車場を利用してもらえるよう案内板を設置する。

平面図

石舟渡交差点～上川

サイクリングロードとジョギングロードが横並びになる区間



スポーツ施設・美術館のアクセシビリティを強化する。

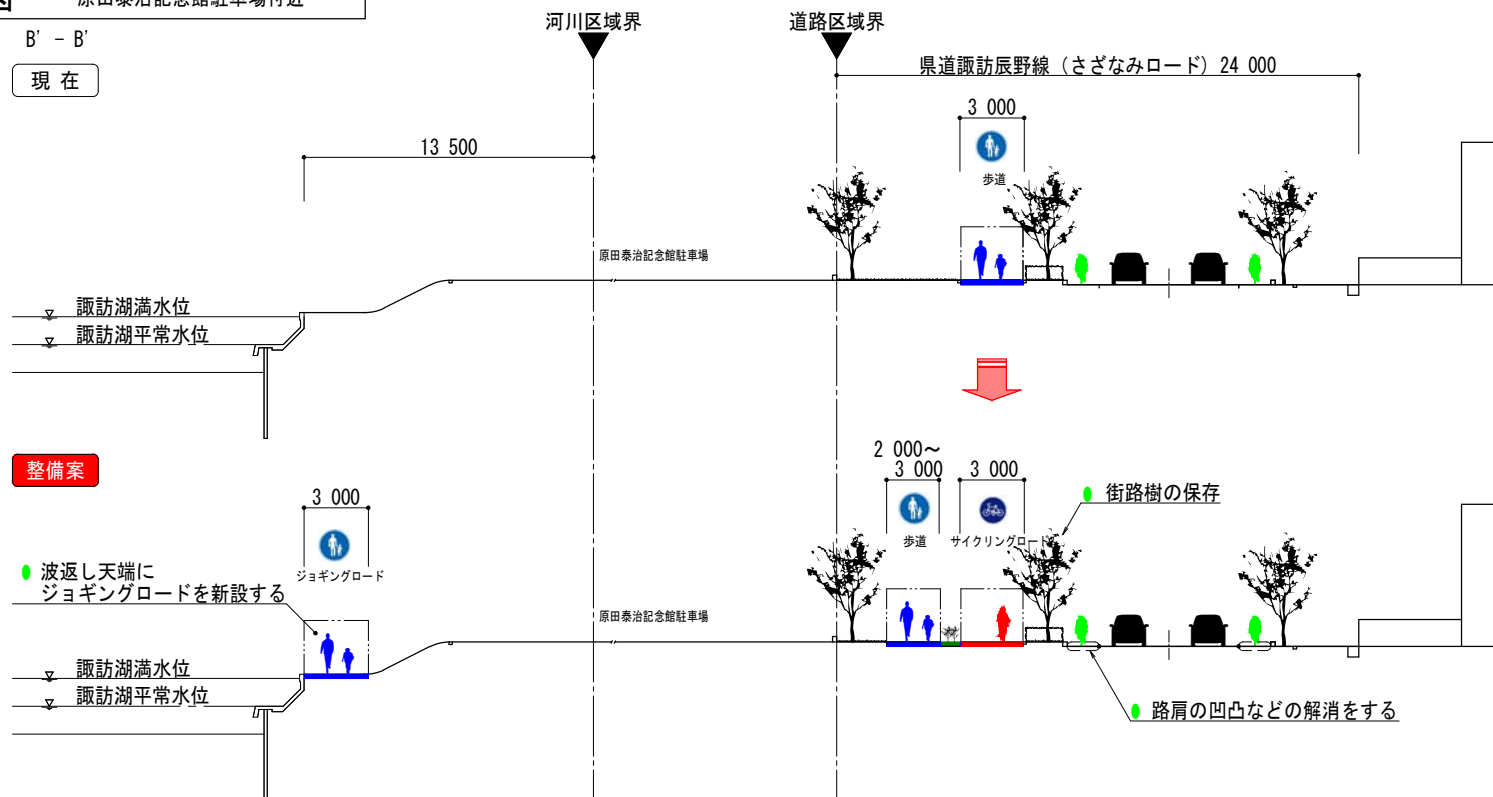
注記：計画の整備イメージに用いている図は、完成イメージであり、必ずしも完成時と一致するものではありません。また、今後実施に向けた詳細設計で、関係機関との協議により一部ルートの変更になる場合もあります。

標準断面図

原田泰治記念館駐車場付近

B' - B'

現在



現在の幅広い歩道空間にサイクリングロードを整備したイメージ

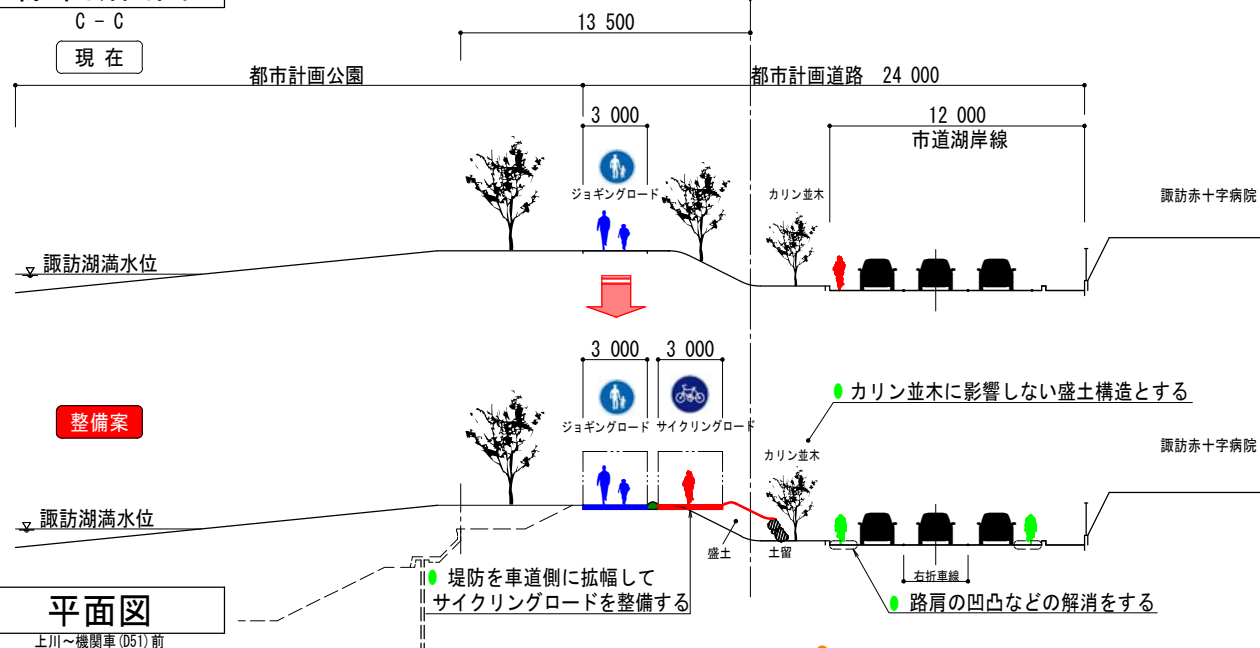


3. 区間毎の自転車整備のイメージ

C区間：上川～機関車(D51)前

L≒1.2km

標準断面図



堤防を車道側に拡幅してサイクリングロードを整備したイメージ



整備要旨

- 整備された湖畔環境が大きく変わらないように、堤防を車道側に拡幅してサイクリングロードを整備する。
- カリン(市木)並木を残した施設整備とする。
- 路肩を走行する自転車のため、側溝などの凹凸を解消する。

平面図

上川～機関車(D51)前

上川～諏訪湖畔公園手前の状況

- ・ このエリアの湖岸は緩やかなぎさが広がる。眺望も良好であるなど、高質な景観を形成している。
- ・ 自動車の交通量が多く、走行速度も速い。
- ・ 市民に親しまれているカリン並木がある。

現在の湖岸状況



諏訪湖の水辺マスタープラン
賑わいとふれあいの湖畔ゾーン



注記：計画の整備イメージに用いている図は、完成イメージであり、必ずしも完成時と一致するものではありません。また、今後実施に向けた詳細設計で、関係機関との協議により一部ルートの変更になる場合もあります。

3. 区間毎の自転車整備のイメージ

D区間：機関車(D51)前～間欠泉センター

L≒1.0km

駐車場の端部にサイクリングロードを整備したイメージ



間欠泉センター付近のサイクリングロード整備のイメージ



諏訪湖畔公園の状況

- 公園内に自転車通行環境がないため、自転車は車道通行が原則である。しかしながら、自転車は迷走し公園内を走行する状況にある。
- 来園者が多く、且つその動線が複雑である。
- 花火大会などに加え、日常的にもイベントが多い。

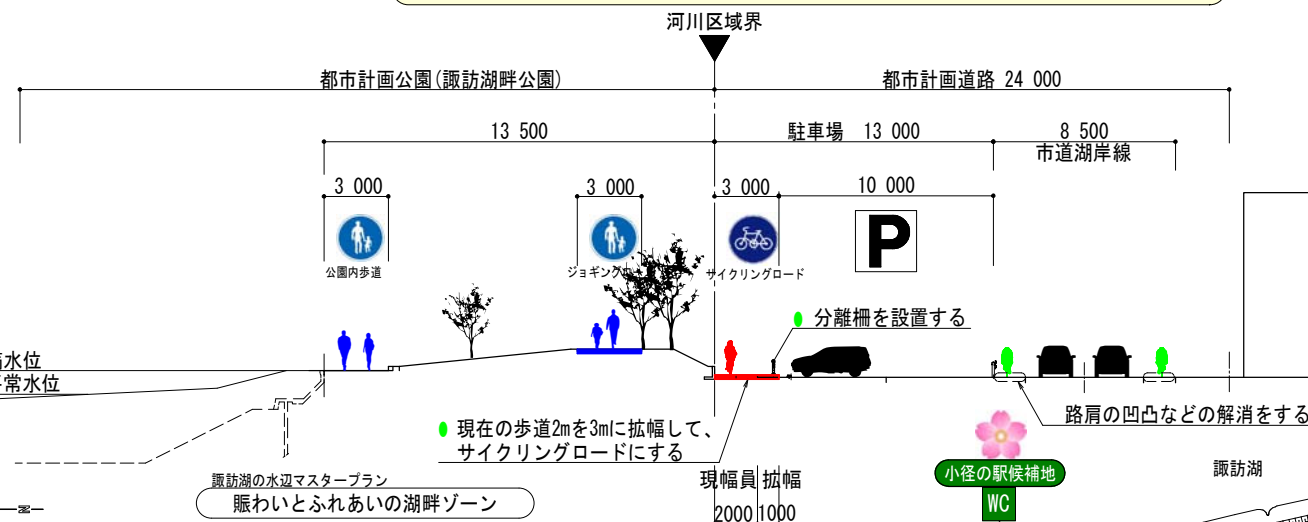
整備要旨

- 諏訪湖畔公園内は、駐車場の歩道をサイクリングロードにする。
- 公園における日常的な快適性と花火大会などのイベント時の安全性と利便性を考慮し、駐車場用途の範囲に分離柵を連続させる。
- 自転車利用者が公園内を利用、散歩できるように駐輪場を整備する。
- 公園利用者の出入り区間には自転車道をカラー舗装し減速と注意喚起を促す。
- 路肩を走行する自転車のため、側溝などの凹凸を解消する。

標準断面図

D-D

整備案



平面図

機関車(D51)前～間欠泉センター



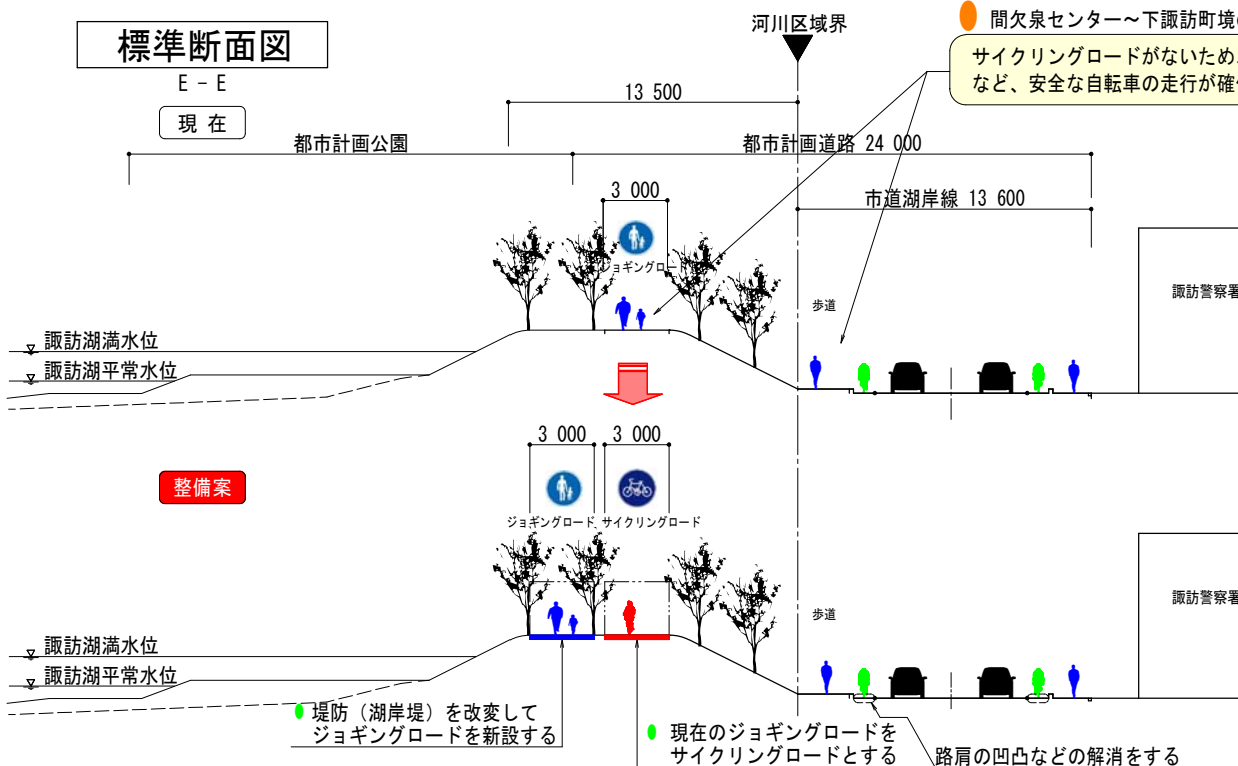
注記：計画の整備イメージに用いている図は、完成イメージであり、必ずしも完成時と一致するものではありません。
また、今後実施に向けた詳細設計で、関係機関との協議により一部ルートの変更になる場合もあります。

3. 区間毎の自転車整備のイメージ

E区間：間欠泉センター～下諏訪町境

L≒0.8km

標準断面図



現在のジョギングロードをサイクリングロードとしたイメージ

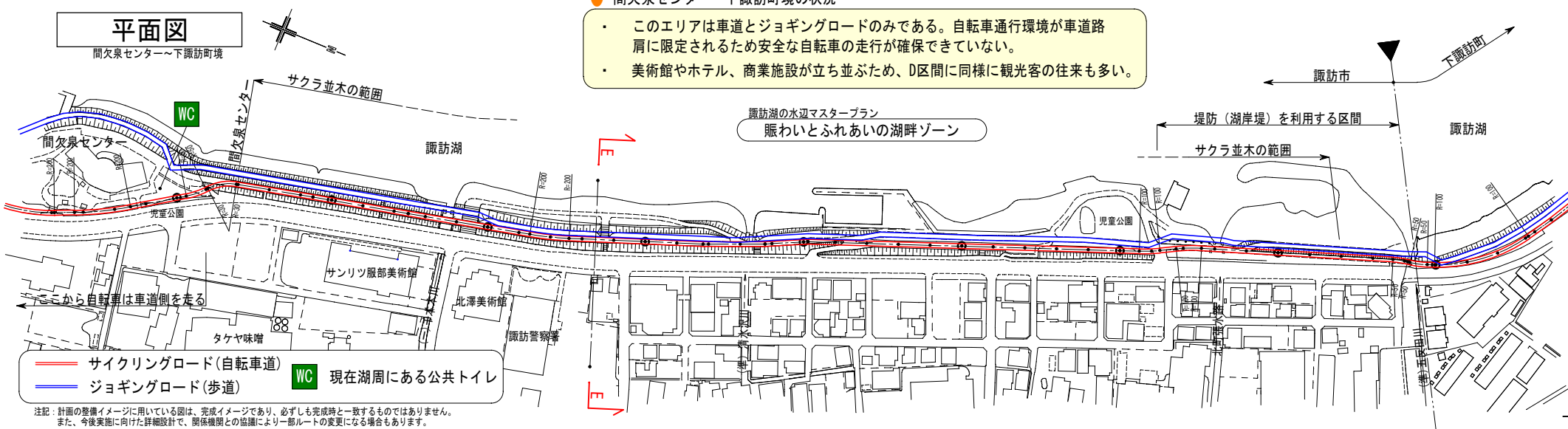


整備要旨

- 歴史のあるサクラ並木の保存を優先した整備とする。
- ジョギングロードをサイクリングロードとする。
- 堤防（湖岸堤）を改変してジョギングロードを新設する。
- 路肩を走行する自転車のため、側溝などの凹凸を解消する。

平面図

間欠泉センター～下諏訪町境



3. 区間毎の自転車整備のイメージ

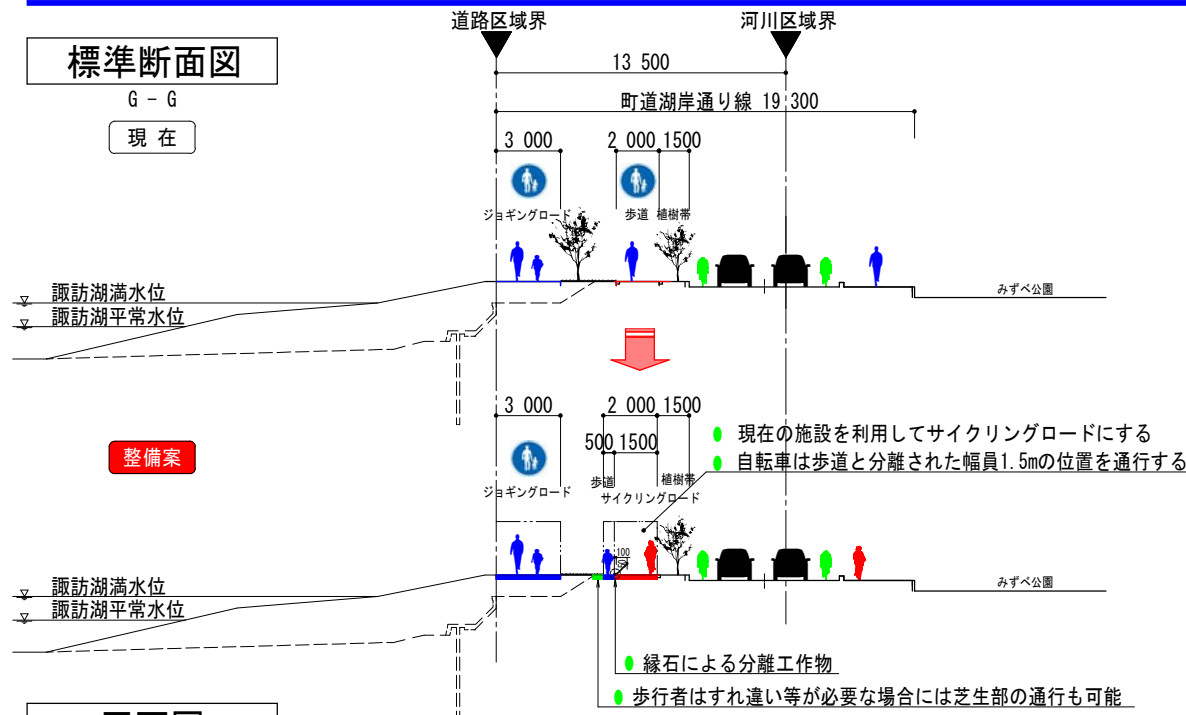
G区間：下諏訪町高浜～赤砂崎公園手前

L≒1.8km

標準断面図

G-G

現在



整備要旨

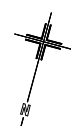
- 現在の施設を有効利用してサイクリングロードにする。
- 自転車は歩道と分離された幅員 1.5m の位置を通行する。
- 歩行者はすれ違い等が必要な場合には芝生部の通行も可能とする。
- 日常的利用の快適性と花火大会・漕艇大会などのイベント時の安全性と利便性を考慮し、段差や柵などを設けず、ビクトサイン（視覚記号）だけとする。
- 自動車の走行速度を抑制する看板（走行速度30km/h程度を促す）などを設置して、通過する自動車交通量を少なくし、歩行者・自転車優先の道路を目指す。

現在のスペースを利用して歩行者と自転車が通行するイメージ



平面図

下諏訪町高浜～赤砂崎公園手前



下諏訪町高浜～赤砂崎公園手前の状況

- このエリアの道路は都市計画道路として整備済みである。
- 自動車の速度が低く、かつ自動車交通量が少ないエリアである。
- 花火大会や漕艇競技大会などのイベントが多い。

みずべ公園の状況

諏訪湖と富士山を眺めることができる（富士見百景の一つ）公園の利便性と快適性が高く、賑わいがある公園である。

諏訪湖 諏訪湖の水辺マスタープラン 水上スポーツを楽しむ湖畔ゾーン

小径の駅候補地

駐輪場候補地

駐輪場候補地

歩道橋の幅員は6mである。将来的には、全周の整備状況に応じて自転車の分離を図る。

県道下諏訪町各線の状況

県道から湖畔の町道に流入する自動車の交通量は少ない。

サイクリングロード整備の波及効果と相乗効果のため、大きな交通結節点である下諏訪駅との連携を強化する。下諏訪駅からみずべ公園までの距離は約900mである。ルートも直線で、自転車走行環境が比較的整っている。

サイクリングロード(自転車道)
ジョギングロード(歩道)
WC 現在湖周にある公共トイレ

注記：計画の整備イメージに用いている図は、完成イメージであり、必ずしも完成時と一致するものではありません。また、今後実施に向けた詳細設計で関係機関との協議により一部ルートの変更になる場合もあります。

3. 区間毎の自転車整備のイメージ

H区間：赤砂崎公園手前～岡谷市境

L≒0.9km

平面図

赤砂崎公園手前～岡谷市境



整備要旨

- 赤砂崎公園内では、サイクリングロードを公園の一部に位置づける。
- 町道ではなく、眺望の良い公園内の湖側にサイクリングロードを整備する。
- 公園の日常的な快適性とイベント時の安全性と利便性を考慮する。

● 赤砂崎公園周辺の状況

自動車の速度が低く、かつ自動車交通量が少ないエリアである

諏訪湖の水辺マスタープラン

湖面に浮かぶ自然と共生する湖畔

● 砥川左岸側

- ・ 現在の堤防天端をサイクリングロードにする。

● 砥川橋の状況

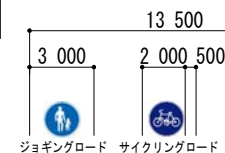
現橋の幅員は6.0mである。
将来的には、全周の整備状況に応じて自動車の分離を図る。

標準断面図

H1 - H1
整備案

- ジョギングロードは現在と同じ

諏訪湖満水位
諏訪湖平常水位

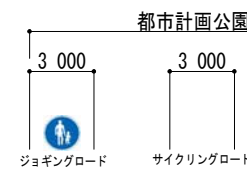


- 現在の歩道をサイクリングロードとする
- 現在の施設に植樹帯を設け、サイクリングロードの幅員を2mにする

H2 - H2
整備案

- ジョギングロードは現在と同じ

諏訪湖満水位
諏訪湖平常水位



- 堤防天端をサイクリングロードにする

堤防と一部公園内を利用し歩行者と自転車が通行するイメージ



— サイクリングロード(自転車道)
— ジョギングロード(歩道)

WC 現在湖周にある公共トイレ

注記：計画の整備イメージに用いている図は、完成イメージであり、必ずしも完成時と一致するものではありません。
また、今後実施に向けた詳細設計で、関係機関との協議により一部ルートの変更になる場合もあります。

3. 区間毎の自転車整備のイメージ

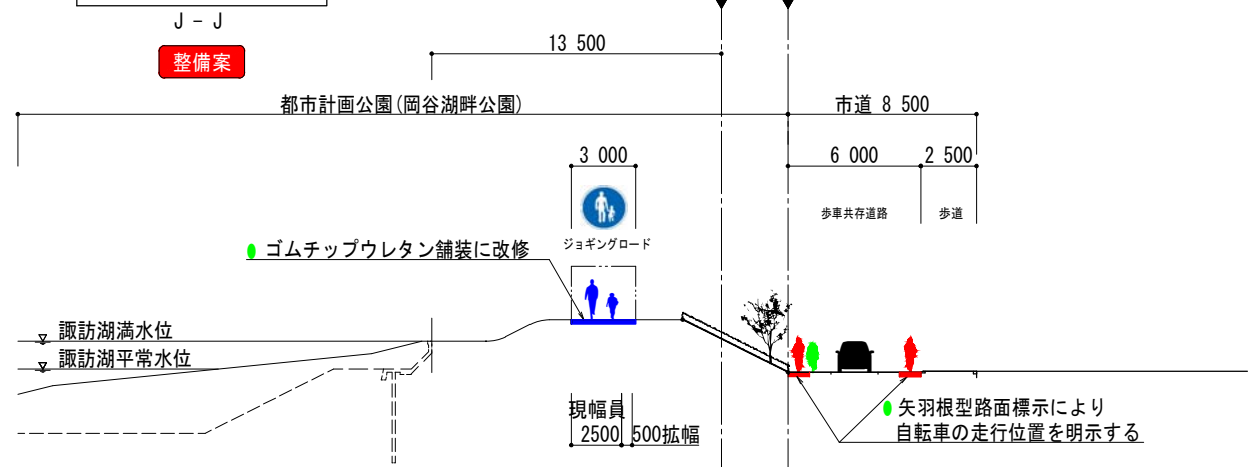
J区間：岡谷南高校前～釜口水門

L≒0.8km

自転車が車道混在で通行するイメージ



標準断面図



平面図

岡谷南高校前～釜口水門

諏訪湖のマスタープラン

釜口水門と大噴水をシンボルとした憩いの湖畔ゾーン



注記：計画の整備イメージに用いている図は、完成イメージであり、必ずしも完成時と一致するものではありません。
また、今後実施に向けた詳細設計で、地関係機関との協議により一部ルートの変更になる場合もあります。